

平成23年度第2回国立大学法人宮崎大学経営協議会議事要旨

日 時：平成23年6月21日（火） 13:30～15:55

場 所：宮崎大学大会議室（事務局棟4階）

出席者 本 学：菅沼学長、中山理事、原田理事、池ノ上理事、松ヶ迫理事

学外委員：岩切委員、齋藤委員、佐藤委員、田崎委員、山崎委員（欠席：稲倉委員）

オブザーバー：日野理事、高山監事、木下監事、菊地副学長、村岡副学長、

堀井副学長、丸山副学長

列席者 森山企画総務部長、中村財務部長、栗木施設環境部長、徳丸学生支援部長、水井研究
国際部長、上村情報図書部長、羽生医学部事務部長、原総務課長、横山秘書広報課長、
中原企画評価課長、米澤人事課長、比江島財務課長、福留監査課長 外

平成22年度第7回及び平成23年度第1回議事要旨の確認について

学長から、平成22年度第7回議事要旨（案）【資料1－1】及び平成23年度第1回議事
要旨（案）【資料1－2】により確認があり、原案どおり承認された。

議事

1. 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

菊地副学長から、【資料2】により平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書
（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2. 平成24年度概算要求（案）について

財務部長から、【席上配付資料1】により平成24年度概算要求事項（案）の特別経費
（プロジェクト分及び基盤的設備等整備分）の説明があり、引き続き施設環境部長から施
設整備費事業関係（施設整備費補助金等事業及び施設費交付事業）の説明があり、審議の
結果、原案どおり承認された。

なお、概算要求事項の優先順位については、学長に一任することが承認された。

3. 平成22年度決算（案）について

財務部長から、【席上配付資料2－1】により平成22事業年度決算（案）概要につい
て説明があり、併せて【席上配付資料2－3，2－4】のとおり監査法人及び監事の承認
を得た旨報告があり、審議の結果、原案どおり承認された。

報告事項

1. 第1期中期目標に係る業務の実績に関する評価結果について

菊地副学長から、【資料3】により国立大学法人評価委員会から通知のあった第1
期中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果について説明があり、評価結果は前回
の協議会で報告した原案と同じであった旨報告があった。

2. 工学部改組について

中山理事から、【席上配付資料3】により現在の工学部の6学科を再編し、平成
24年度から新学科の設置を含め7学科にする工学部改組（案）について、大学設置・
学校法人審議会の審議により、「報告による設置が可能である」旨の通知があり、6
月16日付けで文部科学省へ設置報告書を提出し、学生募集活動が可能になった旨報
告があった。

3. 教育文化学部の新課程見直しについて

原田理事から、【資料4】により教育文化学部の新課程見直しを検討するWGを、将来計画委員会の下に設置した旨説明があり、平成26年度改組を目途に検討を行う旨報告があった。

4. 家畜伝染病防疫研究・研修センター（仮称）設置構想について

堀井副学長から、【資料5】により家畜伝染病防疫の研究及び研修のためのセンターを本学に設置する計画案の報告があった。

5. 国立大学法人宮崎大学の役職員の報酬・給与等の公表について

企画総務部長から、【席上配付資料4】により平成22年度における役職人の報酬・給与等の公表について報告があった。

6. 平成23年度会計監査人の選任について

財務部長から、【資料6】により平成23年度の会計監査人が選任された旨の報告があった。

7. 平成22年度剰余金の使途について

財務部長から、【資料7】により平成22年度剰余金の見込額及び執行計画について報告があった。

8. 平成23年度資金運用に係る入札結果について

財務部長から、【資料8】により平成23年度の資金運用に係る入札結果について報告があった。

9. 平成22年度卒業・修了者の就職状況について

学生支援部長から、【資料9】により平成22年度の卒業・修了者の就職状況について報告があった。

10. 平成23年度入学者の状況について

村岡副学長から、【資料10】により平成23年度入学者の状況について報告があった。

11. 農商工連携に向けた連携・協力に関する包括協定について

研究国際部長から、【資料11】により宮崎県農業協同組合中央会等の参加団体が、本学及び宮崎県の助言等を得ながら、産業の垣根を超え連携・協力するための包括協定を3月31日に締結した旨報告があった。

12. 宮崎市と国立大学法人宮崎大学との包括連携協定について

研究国際部長から、【資料12】により本学と宮崎市が4月5日に、幅広い分野で相互に協力し、地域の発展に寄与することを目的とする包括的連携に関する協定を締結した旨報告があった。

13. 平成23年度科学研究費補助金申請・採択状況について

研究国際部長から、【資料13】により本学の平成23年度科学研究費補助金申請・採択状況について報告があった。

14. 平成22年度共同・受託研究及び奨学寄附金受入状況について

研究国際部長から、【資料14】により本学の平成22年度共同・受託研究及び奨学寄附金受入状況について報告があった。

15. 平成22年度発明届出への対応状況について

研究国際部長から、【資料15】により本学の平成22年度発明届出への対応状況について報告があった。

16. 宮崎大学型若手研究リーダー育成モデルの実施状況について

研究国際部長から、【資料16】により宮崎大学型若手研究リーダー育成モデルの実施状況について説明があり、外部評価においても高い評価を得た旨報告があった。

17. 平成23年度業務改善アクションプランについて

企画総務部長から、【資料17】により平成23年度中に実施（検討）する業務改善アクションプランについて報告があった。

18. 省エネルギーへの対応について

施設環境部長から、【席上配付資料5】により省エネルギーアクションプランを策定し、現在省エネルギー対策を実施しており、今後さらに施設マネジメント委員会等で具体策を検討していく予定である旨報告があった。

19. 東北地方太平洋沖地震に関する主な対応状況について

企画総務部長から、【席上配付資料6】により東北地方太平洋沖地震に関する主な対応状況について報告があった。

20. 平成23年度宮崎大学インターンシップについて

企画総務部長から、【席上配付資料7】により平成23年度に本学が実施するインターンシップについて報告があった。

21. 宮崎大学オリジナルキャラクターについて

企画総務部長から、【資料18】により学内公募により本学のオリジナルキャラクターを決定した旨報告があった。

その他

1. 部局報告

フロンティア科学実験総合センターの伊達教授から、男女共同参画事業の成果と今後の展望について報告があった。

2. 自由討議

本学の今後の課題等について、種々意見交換が行われた。

なお、9月末で退任される学外委員から挨拶があり、次のような意見があった。

- ・本日の会議の資料も膨大な量となっている。必要な資料だと思われるが、資料を作成する労力も大変なものであり、どうにか軽減する方法を検討して欲しい。
- ・法人を運営する費用が厳しくなっているが、教育費用を削る事は日本の国力を削ることになる。教員の給与が安くなれば、人材が私立大学に流出しかねない。
- ・企業の視点からでは、効率が悪く感じるが、法人としての評価は紙の上で行われる仕組みになっている。評価は重要であり、一つ一つ実績を積み重ねていく事が大事だと思う。
- ・宮崎の大学として、ユニークな発想ができるのではないか。自然・環境・エネルギー問題等、宮崎の大学が威力を発揮するチャンスはたくさんあると思う。

- ・少子高齢化は、日本の最大の問題であり、宮崎は日本一の出生率を目指すべきであると考えている。そのための産科医療の充実、ドクターヘリの導入等大学の果たす役割は、重要だと思われる。
- ・大学の使命は、教育と研究であり、絶対に教育を軽視することなく、その役割を果たして欲しい。

次回経営協議会の開催について

次回の経営協議会については、今後の議題等を整理し、日程調整の上、10月又は11月頃を目途に開催することとした。